

法学研究科

2.DPを含むアセスメント結果の活用

方法・指標	実施時期	対象年次	結果の活用
履修指導前の学生の研究計画書とバックグラウンドの再確認	入学時	博士前期課程・及び後期課程学生	入学時の履修指導に先立ち、研究科として各学生の研究計画書とバックグラウンドを再確認し、ニーズも踏まえた効果的な講義が実施できるように他の講義担当教員にもフィードバックして履修指導を行う。
高度専門職業人養成コース・アンケート	春学期	高度専門職業人養成コース 2年次生	1年次に履修した演習科目に関わるアンケートを実施、(同コースの演習科目担当者に対してもアンケートを実施)その結果を踏まえて、研究科としてカリキュラムの改善、見直しを検討する。
大学院院生合同学術研究大会の報告を踏まえての指導教員から研究科へのフィードバック	11月末から12月初旬	博士前期課程・及び後期課程学生	学術的な成果の発信、それを踏まえた対話や交流を行おうとする態度を修得しているか等を研究科としても指導教員からフィードバックを受け確認し、受講するカリキュラムの適性、改善を検討する。
法学ジャーナルへの投稿状況の評価	年1回	博士前期課程・及び後期課程学生	学生が学術成果を積極的に公表しようとしているかを研究科として把握・評価し、受講するカリキュラムの適性、改善も検討する。
修士論文 博士論文 の提出	1月又は 7月	博士前期課程・及び後期課程学生	研究科としてのディプロマ・ポリシーの達成度の評価に活用する。
修了時調査 アンケート	修了時	博士前期課程・及び後期課程学生	研究科として就職先、進路の把握を行い、カリキュラム改善、研究環境の充実、自己点検・自己評価、学生へのフィードバックに活用する。
修了者の就職先、進路状況、退学者状況の把握と検証	3月	博士前期課程・及び後期課程学生	研究科として就職先、進路の把握を行い、カリキュラム改善、研究環境の充実、自己点検・自己評価、学生へのフィードバックに活用する。